

青少年委員だより

親子三世代が暮らしやすく

第151号



平成31年1月14日（月・祝）『はたちの手形』（江戸川区総合文化センター）



地域との連携を

江戸川区立小学校PTA連合協議会

会長 井田 佳男

青少年委員の皆さまには、日ごろからPTA活動にご理解とご協力を賜りまして、まことにありがとうございます。委員の皆さまの中には、PTA会長・本部役員をご経験された方も大勢いらっしゃると聞いております。学校から地域へと活躍の場を広げられ、学校内だけでなく各地域の祭りやイベントなどで、子どもたちの成長を長期にわたり見守られていることと思います。

現在、江戸川区の区立小学生は三万六千人、区立中学生は一万五千人です。そして今年の新成人は七千六百人と多くの若者が江戸川区に在住し、区の人口は七十万人を超えようとしております。

しかし、区内の子どもの人口は年々減少しており、既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、今年度末には上一色小学校が惜しまれつつ閉校することとなりました。確かに少子高齢化は進んでおりますが、区内には子ども人口が増加している地域があることも事実です。

江戸川区においても若い世代の増加を目指し、親子三世代が暮らしやすく、高齢者のもとより、子どもたちが健やかに育つ地域の環境整備、そして区内小中学校をさらに魅力ある学校にするため、区行政や町会・自治会、そして青少年委員の皆さまと一緒に、私たちPTAも地域と連携することの重要性を感じております。そうすることでPTAとしての役目を終えても地域に協力し、また皆さまと同じく委員として地域貢献に努めることができると思っております。

青少年委員とPTAが今後も連携を深めると共に、委員の皆さま、区行政の皆さまのご支援・ご協力をいただけますよう、よろしくお願いを申し上げます。

はたちの手形 くはたちを楽しむつどい

平成31年1月14日(月・祝)
江戸川区総合文化センターで、
江戸川区成人式が行われました。

天気も新成人を祝うかのよ
うに雲一つない青空で、会場
の中も外も男女共に鮮やかな
衣装で着飾った新成人たちが
仲間との再会に盛り上がって
いました。

今回の成人式は会場の混雑
を避けるため、入口と出口を
別々にし、一方通行の形を取
りました。そのため中央ロビー



大ホール・小ホールへの流れ
がスムーズになり、私たち青
少年委員担当の「はたちの手
形」コーナーも余裕を持って
運営することが出来ました。

私たち青少年委員は①新成
人に声かけをして「手形コー
ナー」へ案内する班、②クロー
クで手荷物を預かる班、③晴
れ着が汚れないように割烹着
を着せる班、④色紙に筆書き
して手形を押させる班、⑤洗
面所で手洗いの手伝いをする
班、⑥完成した色紙を前に新
成人にお祝いの言葉をかける
班、計6班に分かれ時間でロ



テーションする構成で動きま
した。

今年約450名の新成人
が手形コーナーに立ち寄って
くれました。その中には、書
道を習っていたのか達筆な字
を書く女性、何を書こうか迷っ
ている男性などもありました。

完成した色紙を前に委員か
らお祝いの言葉を添えて「エール
」「三本締め」「万歳三唱」など
で激励する場面では、恥ずか
しそうにしながらも皆喜んで
くれました。

平成最後の江戸川区成人式
も、大勢の皆さんの協力で滞
りなく新成人たちをお祝いす
ることが出来ました。



新成人には将来、人のため
地域のため、社会のために支
えあえる大人になってくれる
ことを願っています。

(文責・小松川地区・池田総三郎)



みんなで歩こう！ 平成最後のウォーキング

ウォーキングフェスタ江戸川2018が11月23日(金・祝)、晴天の中、平井南小学校第二校庭にて、多田区長のスタートの合図で10キロコースから元気よく出発しました。続いて6キロコースの出発。青少年委員は受付業務及び完歩証の配付でした。また、参加者に声かけをして、場の雰囲気づくりに貢献しました。去年が雨のため、お楽しみ抽選会のみでしたので、今年はそのリベンジの大会となりました。

10キロコースは227名が、6キロコースは397名が完歩し、見事リベンジを果たしました。

(文責・小松川地区・白石重夫)



第36回氷上フェスティバル

江戸川区の冬の祭典である第36回氷上フェスティバルが平成30年12月9日(日)、江戸川スポーツランドで開催されました。

当日は今冬一番の寒さとなりましたが、天候にも恵まれ、多くの方々と共に楽しいひと時を過ごすことができました。

青少年委員会東部地区部会では毎年工作コーナーを担当していますが、今回は「バルーンアート」を実施し、「剣」と「お花」に挑戦しました。

午前中は参加者が少なく心配しましたが、午後になると手が足りなくなるくらい大盛況で、子どもたちも自分の作品に大喜びでした。

一方、式典後にスケートリンクで行われたフィギュアスケートの模範演技では、滑らかで華麗な演技にみな魅了されていました。圧巻は氷上での後方転回(宙返り)で、

大人も子どもも寒さを忘れるほど興奮していました。

このスポーツランドから世界へ羽ばたく「未来の宝」が多く巣立っていくことを期待し、しっかりと応援していきたいと思いました。

(文責・東部地区・相川美智子)



11月
定例会

平成30年11月25日(日)、11月定例会研修として、葛西防災公園にて非常食の炊出しの体験を行い、敷地内の葛西防災施設の見学をしました。

区の地域防災課職員からの説明では、江戸川区の地域内輸送拠点は総豆文化センターと葛西防災施設の2か所あり、物資受入と仕分けを行い避難所への運搬を行うなど、被災者への支援を円滑に進める拠点として整備されています。倉庫には食料品の他、避難所で使用する道具や発電機、エンジン付きゴムボート等が配備されていました。また、東京都の物資も備蓄されており、他県の災害時に発送しているとのことでした。

葛西防災公園での 防災拠点見学と炊出し体験



非常食の炊出しは、かまどベンチの組立方法、火起こし器での種火の作り方、種火でマキに着火する方法を体験しました。また、ハイゼックス炊飯袋の使い方、少量の水でパスタを調理する方法などを学びました。

今回の研修を通して、災害時においても青少年委員として地域に協力できる自信を深めました。

(文責・葛西西南地区・安次富宏行)

「教育行政の現状と課題」 齊藤猛教育長の講演

平成31年1月18日(金)の定例会研修において、齊藤猛江戸川区教育長に「教育行政の現状と課題」と題し、ご講演をいただきました。

講演では、江戸川区の人口

の推移をグラフや表で説明いただき、想定以上に人口が増加してきているものの10年後には減少に転じ、約70万人の人口を抱える江戸川区も、将来的には人口の減少と高齢化社会という問題に向き合わなければならず、小学校の統廃合なども検討していく時期に来ているとのことでした。あわせて、老朽化している小学校の建て替えも進めており、区もそのための計画や予算の確保などの取り組みを進めていくとしています。

また、数十年前の江戸川区の風景や子どもたちの写真の紹介では、蓮田風景や木造校舎を背景に友達と楽しそうに遊ぶ子どもたちの姿を見ることができました。

今回、齊藤教育長にご講演をいただき、江戸川区においても少子高齢化の波は確実に訪れてくることを認識するとともに笑顔あふれる子どもたちを健やかに育んでいく必要性を改めて感じた講演でした。

(文責・中央地区・関清孝)



1月
定例会

平成30年度東京都青少年委員大会

平成31年2月17日(日)に東京都青少年委員会連合会主催「東京都青少年委員大会」が、今年度の当番区である墨田区の曳舟文化センターにおいて開催されました。

第一部では「青少年に豊かな心とよりよい環境を」という大会宣言文が発表され全員賛同しました。続いて、永年表彰が行われ、今回は三多摩地区の14名の方々が表彰状を授与されました。

アトラクションでは、50名ほどで構成される「すみだ少年少女合唱団」の素晴らしい歌声にすっかり聴き入ってしまいました。

第二部では桑田真似くわたまさにというユニークな名前のもものまね芸人さんの登場。TOEIC 990、TESOL英語教師資格をお持ちの方です。講演のテーマは「子どもたちの心をつかむには」と題し、

全員参加型のクイズ形式で行われました。

会場の雰囲気は最後まで笑いにつつまれ、全都の委員が心和む、大変有意義な研修となりました。

(文責・葛西北地区・米川和則)



平成30年11月18日(日)小松川平井地区委員会主催の「学校に泊まるう」において「わくわくレクリエーション研究グループ」のレク活動を行いました。小松川平井地区6校の4年生から6年生までの小学生39名、中学生ボラティア6名が、6班に分かれて参加しました。

まずひとつめのゲームは「命令ゲーム」です。「命令」と言った後の指示に対してのみ従い、「命令」が付いていない指示には従ってはいけないゲームです。ゲームの要領を理解してからは、間違える子どもが徐々に減少していきま

したが、最後の最後に、命令を付けず「最後です。間違えなかつた人、手をあげて！」に対して、手をあげる子どもが多く、笑顔があふれました。

ふたつめのゲームは「人間

知恵の輪ゲーム」。各班ごとに隣でない人の右手と左手、左手と左手をつなぎ、手を離さない状態のまま、つないだ手の間をまたぎ、くぐることにより、なぜかひとつの大きな円になるというゲームです。

友好を深めた仲間と考え、意見を交わし、体勢が苦しい仲間に声をかけながら、ノルマを達成し喜び合う姿が見られました。子どもたちが途中で取り組んだことにとっても感動したレク活動でした。

(文責・小松川地区・笠松志保)



学校に泊まるう 「わくわくレクリエーション」

今回は教育長と懇談

平成30年12月21日(金)
グリーンパレスで恒例の「区長さんと青少年委員との懇親会」が行われました。

当日、多田区長は公務のため欠席し、ご来賓として斉藤教育長と鈴木地区委員長が副会長にご出席いただきました。

斉藤教育長から青少年委員活動の労力に感謝の言葉をいただき、各テーブルでは和やかな雰囲気の中にも活発な意見交換が行われました。

その後、ゲームで更に盛り上がり、平成30年の良い締めくくりとなりました。
(文責・中央地区・斉田治)



新島交流会

平成30年11月3日(土)江戸川区青少年委員会の有志が新島を訪れ、子どもたちと交流を行いました。
新島の青少年委員が島内放送で呼びかけてくれた、たくさんの子どもたちが集まってくれました。今回は「パタパタ蝶・ストロー風車・紙パックブンブンごま」などを作り、手作り工作の楽しさを一緒に味わいました。
毎年楽しみにしている子どもたちの「ありがとう」をいただきましたという言葉を励みに、この活動を今後も続けていきたいと思えます。
(文責・中央地区・早川幹夫)



青少年委員の今後の活動

小松川平井地区委員会「小学校卒業記念ナイトウォーク」

小松川地区6校の6年生の卒業を祝う恒例行事で、小松川小学校を出発し、一晩かけて皇居千鳥ヶ淵まで往復します。
3月23日(土)午後10時から翌朝まで

中央地区部会「お寺に泊まろう!2019」 協力・小岩 善養寺

子どもたちがお寺という非日常的な場所で、ドキドキな共同生活を体験します。
4月27日(土)28日(日) 対象・中央地区小学校11校の5・6年生の児童



こんなイベントで活動しています!

あとがき

新メンバーになり、3号目の「青少年委員だより」となりました。次号からは、江戸川区青少年委員会自慢の研究グループの紹介を順次掲載していきます。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

広報部

青少年委員だより

発行 江戸川区青少年委員会
編集 広報部
連絡 江戸川区文化共育部

健全育成課青少年係
☎(五六六)一六二九